

# Piano Duo Recital

# Akiko Ebi & Chiharu Taguchi

海老彰子・田口千晴  
ピアノデュオリサイタル



2019年4月28日 [日]

14:30開演 (14:00開場)

銀座 王子ホール

(東京メトロ 銀座・日比谷・丸の内線銀座駅A12出口すぐ)

全席自由 一般 前売4,500円/当日5,000円

学生(25歳以下) 2,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

[チケットお取り扱い]

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990

ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード 33571]

(オペレータ電話番号は0570-000-407 10:00~20:00)

プロアルテムジケ 03-3943-6677 <http://www.proarte.jp>

[マネジメント・お問合せ] プロアルテムジケ   
03-3943-6677 <http://www.proarte.jp>

## [PROGRAM]

W.A.モーツァルト：2台のピアノのためのソナタ 二長調 K.448

W.A.Mozart : Sonata for 2 Pianos in D Major K.448

D.ミヨー：スカラムーシュ 作品165b

D. Mihaud : Scaramouche Op.165b

A.スクリャービン：ソナタ第4番 嬰へ長調 作品30 (田口千晴ソロ)

A.Scriabin : Sonata No.4 in F-Sharp Major Op.30

M.ラヴェル：「鏡」より第4曲 "道化師の朝の歌" (海老彰子ソロ)

Miroirs : IV "Alborada del gracioso"

M.ラヴェル：マ・メール・ロワ (連弾)

M. Ravel : Ma mere l'oye

W.ルトスワフスキ：パガニーニの主題による変奏曲

W. Lutoslawski : Variations on a Theme by Paganini

# Akiko Ebi & Chiharu Taguchi

## Piano Duo Recital



海老彰子  
Akiko Ebi

長年、東京とパリを拠点に国際的に活躍。欧州各国、米、カナダ、中南米、露、中国、中近東等33ヶ国で活動する。東京藝術大学1年在学中に第41回日本音楽コンクール優勝後フランスに留学、パリ国立高等音楽院最優秀首席卒、同研究科卒。

ロンティボー国際コンクールで第2位グランプリと4種の特別賞をA.ルービンシュタイン氏等から受ける、ショパン国際コンクール上位入賞。日本ゴールドディスク大賞2回、仏政府から文芸シュバリエ勲章、パリ名誉市民メダル、エクソン・モービル音楽賞本賞等受賞。

世界各国で音楽祭やTVラジオ放送録音、CD録音に活躍中。NHK交響楽団、読売日響、都響ほか殆どの日本のオーケストラ、ワルシャワ国立、フランス放送、モンテ・カルロ、アルゼンチン国立、ルクセンブルグ、18世紀オーケストラ、英国等のオーケストラと、また井上道義、佐渡裕、武藤英明、小林研一郎、スクロヴァチェフスキー、ブリュッヘン、シナイスキー、ヤノフスキー氏らと共演。ほかにアルゲリッチ、ダルベルト、デュメー、パスキエ、コワン、ノラス、堀米ゆづこ、豊田弓乃、豊田里夫氏ら共演者の数多い。アルゲリッチとのデュオ・コンサートは、全欧州各国、イスラエル、日本においてもテレビ放映され、大いに好評を博し、その後も度々共演している。世界の主要コンサートホールで演奏、サントリーホール、シャンゼリゼ劇場、ブレイエル、ゲヴァントハウス、ベルリンフィルハーモニー、ウイグモア、テアトロ・コロソ等々。

第8回及び第9回浜松国際ピアノコンクール審査委員長。第17回ショパン国際コンクール、その他ロン・ティボー等、多くの主要国際音楽コンクールの審査員を務める。

ワルシャワの1838年製エラールで録音したショパンの前奏曲と即興曲全集のCD録音をはじめ、フューメ作品集（世界初演）、ウェーベルン、フランク、ピエルネの「ピアノと弦楽のための五重奏曲」、大江光ピアノ作品など、11枚のCD録音がある。

「アルド・チッコリーニ わが人生」（日本語訳）を出版。（全音楽譜出版社）

横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員長。元日本大学芸術学部大学院教授。元東京藝術大学ピアノ科客員教授。



田口千晴  
taguchi chiharu

東京藝術大学付属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業。同大大学院修士課程修了。

2010年、リサイタルに於いて次のような講評を得ている。『艶やかな…作品への鮮明な見通しの良さ…闊達な感性で描き、…ロマンティズムに満ちていた』（「音楽の友」高山直也）、『しなやかさと柔軟性を持った音で達成感が漂う。…大変おもしろく聴かせ、…密集圧のコントロールと浮遊する場の落差が輝きを発する』（「ムジカノーヴァ」時幹雄）、『ダイナミックな演奏によって彼女のたくましいピアノイズムが十分に発揮され…作品の構造を的確に描き、…確かな手ごたえ』（「ショパン」野崎正敏）。

札幌市に生まれる。藤女子中学卒。4才よりピアノを始め、全日本学生毎日音楽コンクール小学生部門及び中学生部門にて各々奨励賞受賞。第22回文化放送音楽賞受賞。ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院にて研修。イタリアにて第29回ヴィオッティ国際音楽コンクール金賞受賞。ニューヨーク・ジュリアード音楽院にてビヴァレッジ・ウェブスターに師事。その後ニューヨーク・カーネギーホールにてリサイタル開催。ニューヨークタイムズ紙で高い評価を得るほか、ニューヨーク・マサチューセッツ等各地でリサイタルを開催し好評を博す。

これまでに遠藤道子、井口秋子、田村宏、M.ムンツ、H.ピュイグ＝ロジェ、G.シャンドールの各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新星日本交響楽団、札幌交響楽団等と各地で共演。

最近ではカザルスホール、王子ホールでのリサイタルのライブ録音のCDを制作。横浜歴史博物館に於いて“ピアノの魅力”“デュオとソロ”“名曲コンサート”など開催。

2010年にはドイツ、ツヴィッカウにてシューマン生誕200年記念のコンサートに出演。

2016年にシューマンのピアノ五重奏曲を王子ホールで演奏、好評を博す。

これまで上野学園大学、短期大学部で後進の指導にあたったほか、コンクールの審査も務めている。